

## もくじ

- ・ はつかねずみとことりと  
ソーセージ

はつかねずみと

ことりと

ソーセージ

げんさく 原作： グリム どうわ 童話

イラスト： ナナホシ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

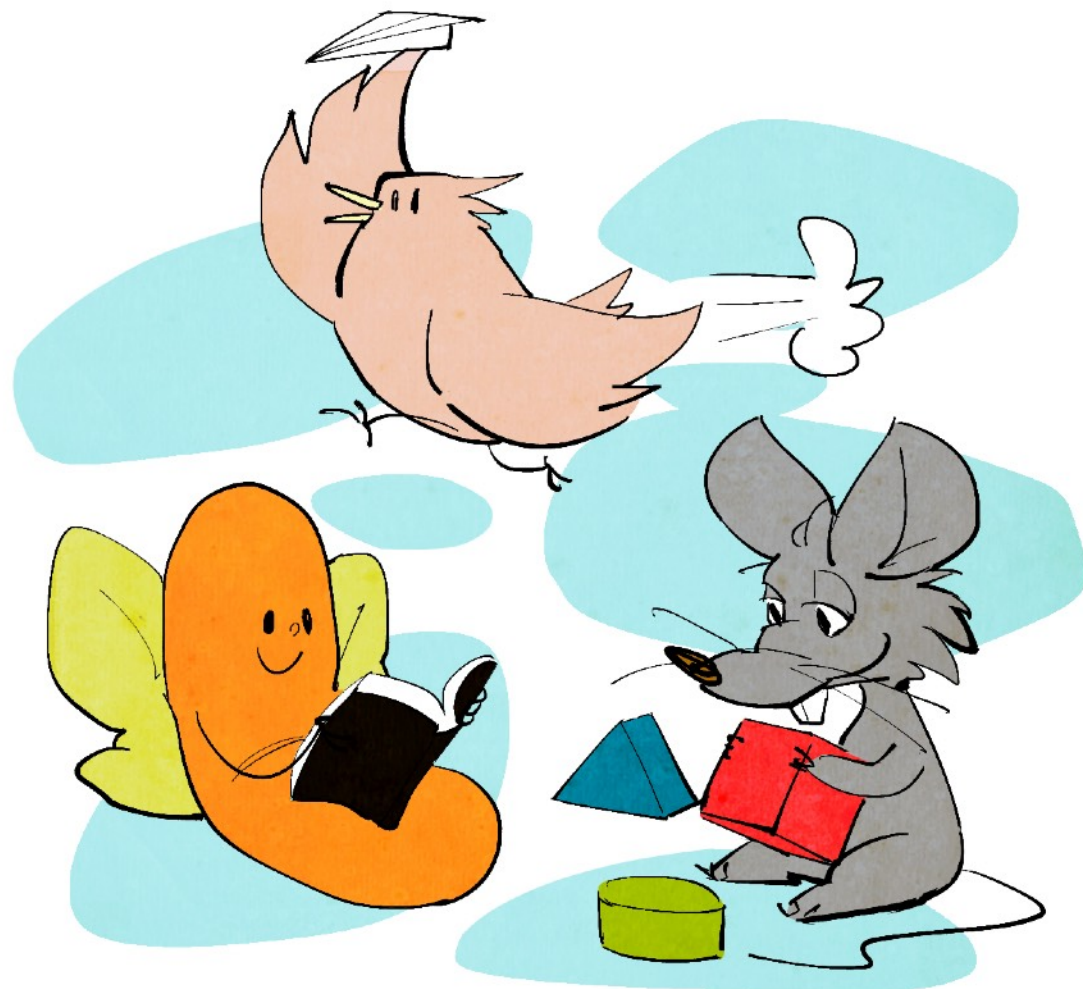
むかしあるところに、『はつかねずみ』と『小鳥』  
と『ソーセージ』が、一緒に住んでいる家がありました。  
た。

三人はそれぞれ分担して、自分の得意なことをして  
生活していました。

小鳥は、空を飛んで森でたきぎを拾ってくること。  
はつかねずみは、ナベに水をくんで、火を起こす  
こと。

ソーセージは、食事を作り、最後にふっとうした  
ナベの中をひと泳ぎして、ダシを取ることに。

こうした役割をしっかりと守っていたので、三人は  
とても仲良く、平和に暮らしていました。



ある日、小鳥が森でたきぎを拾っていると、そこで  
友達のカラスに出会いました。

小鳥がカラスに、自分たちが三人で仲良く暮らして  
いることを話すと。

「ばかだなあ。きみが一番大変な仕事をしている  
じゃないか」

「ええ！そんなことないよ」

「他の二人は、きみよりずっと楽していると思っ  
て。今ごろは、家でお昼寝でもしているさ」

「う～ん、そうかなあ・・・」

小鳥はその日一日たきぎを拾いながら、カラスの  
言ったことを考えていました。

